

# 富山県立大学ニュース

令和元年6月発行  
富山県立大学広報・情報委員会

NO.123

## 平成31年度入学式

4月4日



新入生代表誓詞



入学式の様子



### CONTENTS

- News Digest
- 学生レポート
- 新任教員紹介
- INFORMATION など



# 学長就任のご挨拶

富山県立大学 学長 下山 勲



2019年4月1日に富山県立大学の第7代目の学長を務めることになりました、下山勲です。本学は1990年に設立され、2020年には30周年の節目を迎えることとなります。この節目に先立って、工学部において、2017年4月に医薬品工学科を新設し、2020年4月には電子・情報工学科を電気電子工学科と情報システム工学科に再編し、この2学科の合計定員は10名増員して90名となる予定です。また、2019年4月には看護学部を新設し、医療・看護分野においても優秀な人材育成を始めました。この結果、本学の定員は2学部合計で460名となります。定員の増加にあわせて、看護学部が使用する富山キャンパスを整備するとともに、現在、射水キャンパスにおいても、2020年3月完成予定の新校舎の整備を進めているところです。

私は、本学の教育研究を通して、学生の皆さんが専門的な知識や技術を身に着けるとともに、課題解決能力を養ってほしいと考えています。とくに、喫緊の社会課題である、少子高齢社会での生活の質の維持・向上や、持続可能な社会の構築などの課題に対して、科学技術がこれらの解決に貢献できる場面が多々あるはずで、さらに、科学技術のみならず、たとえば社会の受容や経済活動が求められる課題解決においても、社会学や経済学などと科学技術を融合できる場面が数多くあるはずで、このような協働による課題解決の場面で、臆することなく、協働相手とコミュニケーションし、相手を理解し、皆さんのもつ専門性と相手の専門性とを融合できる能力も身に着けてほしいと考えています。自らが課題を設定し、これまで身に着けた知識や技術と、教員などからのアドバイスや必要であれば協働をもとに課題解決するプロセスを体験すると、異なる分野でも解決の糸口を見つけられるようになります。

私は、このような能力をもつ学生が育つよう、本学の授業や研究の環境をさらに整備したいと考えています。学生の皆さんが本学を活用し、将来、社会に積極的に貢献するという夢や志を持って、大学生活を有意義に送ることを期待しています。

私は、このような能力をもつ学生が育つよう、本学の授業や研究の環境をさらに整備したいと考えています。学生の皆さんが本学を活用し、将来、社会に積極的に貢献するという夢や志を持って、大学生活を有意義に送ることを期待しています。

# 理事長就任のご挨拶

公立大学法人富山県立大学 理事長 渋谷 克人



本年4月に富山県立大学の理事長に就任いたしました渋谷克人です。

本学は、平成2年に日本海側屈指の工業集積を背景に、工学系大学として開学し、就職に強い大学、研究力の高い

大学として高く評価をいただいております。これは、学生の皆さんや教職員の努力はもとより、企業や自治体など多くの皆様のご支援の賜物と感謝しております。

平成27年には公立大学法人となりましたが、この法人化を機に、6年間の中期計画を立て、①学生を大きく伸ばす教育力の高い大学、②未来を志向した高度な研究を推進する大学、③広く開かれ地域に貢献する大学の実現を目指し、積極的に取り

組んでいるところです。

具体的には、工学部では、社会のニーズに沿った学科の新設拡充（医薬品工学科、知能ロボット工学科）や入学定員の拡大（100名増）を行いました。また、本年4月には、看護学部を開設し、2学部体制の新しい富山県立大学がスタートいたしました。

こうした学部、学科の新設拡充と学生の増加に対応するため、教員を大幅に増員するとともに、富山キャンパスでの看護学部校舎の整備に加え、射水キャンパスでも9階建ての新校舎建設を進めているところです。

今後とも、富山県の発展に寄与する魅力ある大学として積極的な運営に努めてまいりますので、皆様の温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。



私は、4年前の平成27年4月、本学の法人化と同時に理事長に就任し、その際、県立の大学として産業や社会に求められる人材の育成と、若者の県内定着を一層進めるため、大学の拡充計画を立て、

短期間に実現することを目指してきました。

お蔭様で、工学部の定員増と医薬品工学科等の学科の新設拡充、看護学部の開設などが順調に進み、これは石塚学長はじめ教職員の皆様のご努力と、後援会や学生の皆様のご協力の賜物であり、心から感謝しています。

キャンパス整備については、富山キャンパスでは、明るくて機能的な校舎が整備され、看護学部がスタートしました。射水キャンパスでは、学生会館が竣工しましたが、来春に9階建ての新校舎が完成すると、景色が一変し、遠くからでも本学の存在が目に入るようになります。また、スクールバスも運行開始し、便利で快適な環境整備が着々と進み、嬉しく思っています。

私は来客をご案内する際には、「この校舎は、築30年弱とは思えないほどきれいで、落書き一つなく、ごみが落ちていません。学生たちが大事に使っています。」と、いつも自慢していました。キャンパスの姿は、2～3年後には見違えるように美しく変貌すると思いますが、今後とも、先輩が学んだ学舎を愛し、美観を守って、後輩に引き継いで下さい。

また、充実した学生生活を送り、母校を愛するという観点からは、「学歌」が制作されたことも良かったと思います。校歌制作委員会に参加いただいた学生代表、後援会、同窓会、教職員の皆様をはじめ、作詞作曲をまとめていただいた高原兄氏に感謝しております。

学歌のタイトルは、「明日を拓く」ですが、その歌詞の内容と同じように、富山県立大学がドンドンマスマス発展し、学生、卒業生、後援会、教職員の皆様が一層ご活躍され、健康で幸せに過ごされますようご祈念申し上げ、退任のご挨拶いたします。

4年間、本当にありがとうございました。

## 電子・情報工学科の再編について

電子・情報工学科 主任教授 唐山 英明

富山県立大学工学部の電子・情報工学科は、令和2年4月から電気電子工学科と情報システム工学科の2学科となります。その使命は、多くの優秀な人材を輩出すること、また国内外で注目されるような研究成果を創出すること、さらには、地域貢献によって地域の活性化を図ることなどが挙げられます。

電気電子工学科では、集積機能デバイス工学講座と電子通信システム工学講座という2つの講座からなり、電子デバイス、パワーエレクトロニクス、光・電磁波応用、システム制御の各分野を充実させ、その教育や研究開発を行います。また、情報システム工学科では、情報基盤工学講座と情報システム工学講座という2つの講座からなり、IoTやビッグデータの各分野を充実させ、看工連携研究も推進します。それぞれの学科の定員は45名であり、また教員15名ずつを配置する予定で少人数教育を実施します。

電気電子工学科では、持続可能で豊かな社会を支える電気電子工学分野の基礎と実践的応用力を備え、高度な技術開発を通じて、地域に貢献し国内外で活躍できる人材を育成します。情報システム工学科では、情報工学の幅広い基礎と最先端の情報システムに関わる創造力と実践力を備え、グローバルな活躍と地域への貢献ができる人材を育成します。

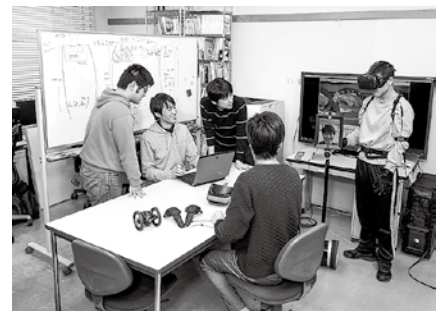
廃止する現学科（入学定員）	新設する学科（入学定員）
電子・情報工学科（80名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>→ 電気電子工学科（45名）</li> <li>→ 情報システム工学科（45名）</li> </ul>

※令和2年（2020年）4月以降、募集停止

※令和2年（2020年）4月開設



電気電子工学科



情報システム工学科

## 海外研修・語学研修

2月14日(木)～3月10日(日)までの25日間、本学の学生8名が米国オレゴン州ポートランド市で語学研修に参加しました。実践的な英語力を身につける授業に加え、期間を通してホームステイをする英語一色の毎日を通して、英語力の向上だけでなく、米国文化や社会についても理解を深めました。

また、3月13日(水)～16日(土)には北陸銀行主催で中国大連へのトレーニー派遣が実施されました。本学からは2名が参加し、北陸銀行大連事務所でのセミナー、YKK、コマツNTCの視察や、大連理工大学生との交流会、旅順視察などを行いました。



## 学内合同企業研究会

2月26日(火)～28日(木)の3日間、本学大谷講堂で、学内合同企業研究会を開催しました。この企業研究会は、令和2年3月卒業・修了予定の学生が、企業の業種・職種等について研究し、企業の採用スケジュール等について企業の人事担当者から情報収集を行うもので、3日間で延べ379名の学生が参加しました。

前回拡充した開催規模を継続し、1日目～2日目午前中は県外企業、2日目午後～3日目は県内企業を中心に、計307の企業に参加いただきました。

スーツに身を包んだ学生達は、熱心に各企業のブースで人事担当者の説明を聞き、積極的に質問していました。

## 平成30年度学位記授与式

3月16日(土)、ラポールにおいて、平成30年度学位記授与式が行われました。式では、石塚勝学長が「社会に貢献する立派なエンジニアやリサーチャーとして大きく成長することを祈念する」と式辞。続いて寺井幹男理事長が「自分の長所を伸ばし、今後の人生を切り拓き、立派に成功していただきたい」と挨拶を述べました。

また、山崎康至富山県副知事が「困難や課題に直面した時こそ、果敢にチャレンジし、力強く新たな未来を切り拓かれることを願う」と知事の祝辞を代読されました。

式に併せ、各学科の成績優秀な学生1名に、学長からベストチューデント賞が贈られました。受賞された方々は、次のとおりです。



工学部機械システム工学科	黒川 淳太
工学部知能ロボット工学科	角川 勇貴
工学部電子・情報工学科	奥野 帆香
工学部環境・社会基盤工学科	山岸 祥希
工学部生物工学科	山之内 祐香



## 看護学部開設式

4月1日(月)に、本学富山キャンパスにて富山県立大学看護学部開設式が行われました。

式では、本学渋谷克人理事長が「看護学部の開設をひとつの契機として、県内の保健・医療機関の皆様、地元関係者の皆様と十分に連携を図りながら、より魅力ある大学を目指してまいります。」と挨拶を述べ、続いて石井隆一富山県知事が「質の高い看護人材の育成に加え、若者や女性の県内定着などを通じて地方創生の一躍を担う、魅力ある大学となれることを心から期待しています。」と祝辞を述べられました。

## 平成31年度入学式

4月4日(木)、ラポールにおいて、平成31年度入学式が行われ、563名の新しい学生を迎えました。式では、下山勲学長が「社会に積極的に貢献するという夢や志を持って、大学生活を有意義に送られることを祈念する」と式辞。続いて渋谷克人理事長が、「積極的にチャレンジし、青春を謳歌し、素晴らしい大学生活を送っていただきたい」と挨拶を述べました。

また、石井隆一富山県知事が「日々努力を重ねられ、明日の富山県や日本をリードする原動力となることを期待しています」と祝辞を述べられました。

最後に工学部の坂井聖斗さん、看護学部の藤田美宙さん、大学院の山岸祥希さんが新入生を代表して誓詞を述べました。





## ドンドンマスマス！県大CAMPUS NOW！

このコーナーでは、本学の学科拡充・新設に伴うさまざまな取り組みをお伝えします。

### 学生会館竣工式を行いました

4月20日に、富山県立大学学生会館の竣工式を行いました。新たな学生会館は木造2階建て、延床面積約860㎡の建物で、ホールや談話コーナー、部室等を整備しました。富山県内の公共建築物として初めて構造材にCLT材（直交集成材）を採用するとともに、富山県産の木材を多く使用し、開放的で落ち着きのある空間となっています。

竣工式では、本学渋谷克人理事長が「教育環境の整備を進め、この施設を魅力あるキャンパスライフの拠点にしていきたい」と式辞を述べ、続いて石井隆一富山県知事より「学生会館で英気を養った学生が研究に努め、将来は地域産業の担い手になってくれるよう期待したい」と祝辞をいただきました。



学生会館



交流ホール



竣工式テープカット

## 学生レポート

### ドイツ留学を経験して

博士前期課程生物工学専攻2年 釜井 彩花

平成30年8月から10月にかけてドイツ留学をさせていただきました。留学の初めにHamburgで行われた国際学会「International Congress on Biocatalysis biocat」へ参加し、学部時代から行ってきた研究である「光学活性なハロゲン化アルコールを産生する酵素」について発表しました。英語での発表は初めてだったので事前に何度も練習を重ね、また質疑応答に備えた対策を行い挑みました。

学会後は、Bielefeld大学に移動し「アルドキシム-ニトリル経路に関する植物由来酵素」に関して、有機合成から微生物酵素を用いた立体選択性の確認まで幅広い研究を行いました。ドイツでの研究生活は日本とは大きく違い、短い研究時間の中で成果を出すための細かな実験スケジュールの管理に大変苦労しました。今回の留学では自分の英語力と専門知識の不足を改めて痛感する事が出来た良い機会となり、今後の勉学への更なる向上へと繋げる事が出来ました。

このような大変有意義なドイツ留学の機会を与えて下さった関係者の方々にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。



## 学生レポート

### ドイツ短期留学

博士前期課程生物工学専攻2年 山本 佳樹



私は平成31年1月よりドイツ、ビーレフェルト大学のHarald Gröger教授の研究室に1カ月間留学させていただきました。ドイツでは、酵素化学工学講座で行われているアルドキシム脱水反応を触媒するシトクロム P450の研究とHarald Gröger教授の研究室で行われている有機合成の研究を行ってきました。初めての海外留学であったため、計画がうまくいかないことや、不慣れな環境での生活や実験を思うよう行えないこともありとても苦労しました。しかし、研究に対する姿勢や文化の違いから、日本や自分自身の良い点、悪い点などを実感することができ、自己の成長に繋がる良い経験ができたと思います。

最後にドイツ留学するにあたってご指導いただいた日独の関係者の皆様にこの場を借り厚く御礼申し上げます。

本学教員等の受賞等について（※学科名、職位は受賞当時のもの）

受賞者	表彰の名称	表彰内容（論文名等）	受賞日
大寺 康夫 教授 (電子・情報工学科)	電子情報通信学会エレクトロニクスノサイエティ活動功労賞	エレクトロニクスシミュレーション専門委員会幹事、及び論文誌特集号編集幹事としての貢献に対し	2019年3月19日
伊藤 勉 准教授 (機械システム工学科)	第32回 優秀ポスター発表賞 (2019年春期 (第164回) 講演大会)	Near-α Ti合金の加工条件による組織形成過程とクリープ特性 (共著論文での受賞)	2019年3月20日
浅野 泰久 教授 (生物工学科)	日本農芸化学会「2018年度英文誌 (Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry) 論文賞」	Prunasin production using engineered Escherichia coli expressing UGT85A47 from Japanese apricot and UDP-glucose biosynthetic enzyme genes (共著論文での受賞)	2019年3月25日
森川 大輔 講師 (知能ロボット工学科)	日本音響学会北陸支部学会活動貢献賞	支部活動への貢献	2019年4月1日

本学学生等の受賞等について（※学科名、学年等は受賞当時のもの）

受賞者	学科等	学会賞名	受賞年月	指導教員
井本安里紗	電子・情報工学科 4年	平成30年度 電子情報通信学会北陸支部 優秀学生賞	2019年2月	准教授 石坂 圭吾
中田 有哉	博士前期課程情報システム工学専攻 1年	平成30年度 電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞	2019年2月	准教授 中田 崇行
黒田 雄太	博士前期課程情報システム工学専攻 1年	平成30年度 電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞	2019年2月	准教授 中田 崇行
東 周輝	博士前期課程情報システム工学専攻 1年	平成30年度 電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞	2019年2月	准教授 中村 正樹
近江 亮祐	博士前期課程知能デザイン工学専攻 2年	平成30年度 電子情報通信学会北陸支部 学生優秀論文発表賞	2019年2月	講師 中井 満
倉地 俊哉	博士前期課程知能デザイン工学専攻 2年	日本音響学会 北陸支部 優秀学生賞	2019年3月	教授 平原 達也
中田 好香	機械システム工学科 4年	日本設計工学会 武藤栄次賞	2019年3月	講師 寺島 修
高橋沙和子	博士後期課程生物工学専攻 1年	第13回日本ゲノム微生物学会 最優秀ポスター賞	2019年3月	教授 西田 洋巳
山岸 祥希	博士前期課程生物工学専攻 1年	平成30年度 土木学会中部支部 優秀研究発表賞	2019年5月	教授 伊藤 始

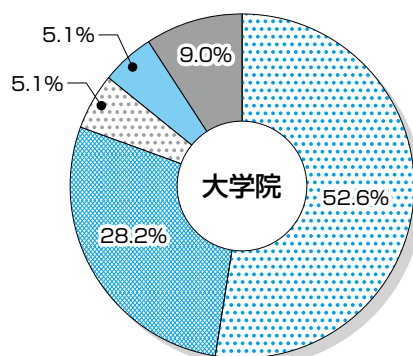
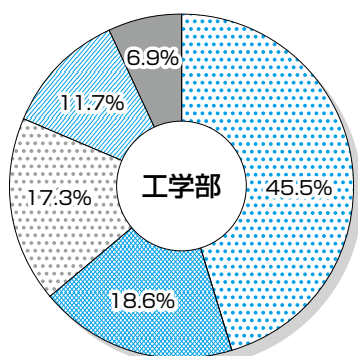
平成30年度卒業・修了生進路状況

(平成31年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数	進学者数		
			うち県内就職	うち本学大学院	その他
工学部	220 (51)	145 (32)	61 (20)	74 (19)	70 (17)
機械システム工学科	44 (2)	28 (2)	11 (1)	16 (0)	16 (0)
知能ロボット工学科	40 (4)	23 (2)	13 (2)	17 (2)	15 (2)
電子・情報工学科	47 (7)	30 (5)	10 (4)	16 (2)	16 (2)
環境・社会基盤工学科	43 (7)	39 (6)	16 (4)	4 (1)	4 (1)
生物工学科	46 (31)	25 (17)	11 (9)	21 (14)	19 (12)
大学院・博士前期課程	78 (7)	78 (7)	31 (4)	0 (0)	0 (0)
機械システム工学専攻	18 (0)	18 (0)	10 (0)	0 (0)	0 (0)
知能デザイン工学専攻	18 (1)	18 (1)	7 (1)	0 (0)	0 (0)
情報システム工学専攻	21 (1)	21 (1)	5 (0)	0 (0)	0 (0)
環境工学専攻	10 (2)	10 (2)	4 (1)	0 (0)	0 (0)
生物工学専攻	11 (3)	11 (3)	5 (2)	0 (0)	0 (0)

( ) は女子内数

【業種別就職状況】



- 製造業
- 情報通信業
- 建設業
- 公務員
- 学術研究、専門・技術サービス
- その他

# 人事消息

異動区分	職	氏名	
就任 (31.4.1)	理事長	谷山 克	
	学長	中島 範	
	副学長・工学部長	竹内 登美	
	看護学部長	大島 徹	
	入試・学生募集部長 地域連携センター所長 キャリアセンター所長	鈴木 真由美 五十嵐 康文	
昇任 (31.4.1)	工学部教授	小林 一也	
	工学部教授	石坂 圭吾	
	工学部教授	脇坂 弘之	
	工学部教授	脇坂 泰寛	
	工学部准教授	増田 吉郎	
	工学部准教授	本村 秀正	
	工学部准教授	中坂 規樹	
	工学部准教授	坂田 佳織	
	工学部講師	森竹 孝男	
	工学部講師	澤城 美みどり	
工学部 新規採用 (31.4.1)	工学部准教授	高橋 裕美	
	工学部准教授	モクタリ パーハム	
	工学部准教授	黒田 啓介	
	工学部准教授	黒林 智哉	
	工学部講師	塚野 拓	
	工学部講師	越田 拓太郎	
	工学部講師	高屋 智久	
	工学部講師	岩田 達彦	
	工学部講師	ゲネック ベンジャミン	
	工学部助教	森島 信	
	工学部助教	大西 裕美	
	工学部助教	大西 美宇	
	看護学部 新規採用 (31.4.1)	看護学部教授	柴田 嘉美子
		看護学部教授	片松 裕弘
		看護学部教授	田井中 いずみ
		看護学部教授	川崎 久子
		看護学部准教授	三崎 善子
		看護学部准教授	林比古 静子
		看護学部准教授	比古 静子
		看護学部准教授	嘉藤 尚里
		看護学部准教授	野井 由美子
		看護学部准教授	河浦 珠恵子
		看護学部講師	福山 紇
		看護学部講師	福山 理奈子
		看護学部講師	山崎 寛英
		看護学部講師	本柳 英圭
		看護学部講師	二本柳 圭子
看護学部講師		若林 理恵子	
看護学部講師		伊藤 佳美	
看護学部講師		高木 弘子	
看護学部講師		高寺 孝	
看護学部講師		若瀬 淳	
看護学部講師		若瀬 子	
看護学部講師		小村 美代子	
看護学部講師		杉山 由香里	
看護学部講師		杉山 智可	
看護学部講師		山崎 理映子	
看護学部講師		山崎 理映子	
看護学部助教		岩谷 昭洋	
看護学部助教		野口 正晃	
看護学部助教		竹濱 将志	
看護学部助教		福村 寛恵子	
看護学部助教	米山 理子		
看護学部助教	岡本 美麻子		
看護学部助教	岡本 友香子		
看護学部助教	北三 織		
看護学部助教	西田 香		
看護学部助教	遠藤 大奈子		
看護学部助教	濱田 多美子		
看護学部助教	北林 正		
看護学部助手	細田 莉奈		
看護学部助手	堀小 美衣		
退職 (31.3.31)	理事長	寺井 幹	
	学長	石塚 佳	
	工学部教授	森川 上	
	工学部教授	川井 隆	
	工学部教授	奥川 史治	

# 工学部新任教員紹介



## 教養教育センター 准教授 竹澤 みどり

4月より教養教育のコミュニケーション論担当として着任しました。これまでの研究やカウンセリング等の経験を活かし、信頼感のある人間関係を形成する力の育成に貢献したいと思っています。よろしく願い致します。



## 教養教育センター 准教授 金城 朱美

これまで人びとの「語り」からドイツ文化と社会の諸相を研究してきました。本学では比較文化学を担当しています。今後、現代技術に関する語り、富山の民俗研究にも取り組みたく存じます。よろしく願いいたします。



## 教養教育センター 准教授 高橋 裕美

4月に、教養教育センター特別任用准教授として赴任しました。専門は、健康スポーツ科学、運動生理学です。博士(医学)の学位は平成8年、鳥取大学より取得しました。どうぞ、よろしく願いいたします。



## 知能ロボット工学科 准教授 モクタリ パーハム

1999年にオーストラリアから来日し、研究所にて音声生成・立体音響・音響シミュレーションの研究に従事してきました。学生が工学的知識のみならず国際感覚を養える教育を目指します。よろしく願い致します。



## 環境・社会基盤工学科 准教授 黒田 啓介

宮城県出身、専門は水環境工学で、河川や地下水の中の汚染物質の動態と制御について国内外で研究してきました。こちらでも水に関する様々な研究・教育を皆様と一緒に進めていきますので、よろしく願い致します。



## 教養教育センター 講師 林 智

教養教育センターに特任講師として着任しました。学生時代を除き、大半を富山県で過ごしています。英語教育を専攻後、富山県内の高校に勤務、今後は大学教員として地域の発展に尽力する所存です。よろしく願い致します。



## 知能ロボット工学科 講師 塚越 拓哉

知能ロボット工学科に着任しました。私は光学技術者として企業で16年間働いたのち、東京大学で学位をいただきました。プラズモニクスとセンサ技術を活用して、本学ではロボットに五感を持たせる研究を行います。



## 知能ロボット工学科 講師 野田 堅太郎

知能ロボット工学科・講師に着任致しました。2009年博士号取得後、東京大学でロボットの五感センサの教育・研究を行って参りました。富山を更に発展させる人材育成・研究に尽力します。よろしく願い致します。



## 電子・情報工学科 講師 高屋 智久

4月より電子・情報工学科に着任いたしました。大学、民間企業で「モノの見えない性質を光で『見える』化する」研究を進めてきました。富山県の発展に貢献できるような力を尽くします。何卒宜しくお願い申し上げます。



## 電子・情報工学科 講師 岩田 達哉

この度、電子・情報工学科の講師として着任いたしました。これまで、半導体デバイス・センサの研究に携わっておりました。今後も広い視野から研究教育に邁進する所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。



## 環境・社会基盤工学科 講師 端 昭彦

環境・社会基盤工学科に講師として着任しました。水中の病原微生物をターゲットとした研究に取り組んできています。今後も富山県を拠点に同様の研究を続けていく所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。



## 機械システム工学科 助教 ゲネック ベンジャミン

フランス出身で、専門は金属材料の疲労です。機械設計においても日本とは異なった思想や価値観があることを学生に伝えることができればと思っています。本学での教育・研究に貢献できるよう頑張っていきます。



## 環境・社会基盤工学科 助教 森島 信

これまでGPUを用いた並列処理によるシステムの高速度化を主に研究しておりました。今後は、これに加えて、他の先生方とも協力して幅広い分野に挑戦したいと考えております。よろしく願いいたします。



## 電子・情報工学科 助教 大倉 裕貴

2019年4月より電子・情報工学科の助教として着任いたしました。専門はシステム制御工学で、特に非線形制御理論、人間-機械系のための制御手法に関する研究を行っています。どうぞよろしく願いいたします。



## 生物工学科 助教 西川 美宇

本年度より生物工学科機能性食品工学講座に着任いたしました。細胞や疾患モデル動物を用いた有用成分の機能性評価を実施しております。教育および地域貢献にも尽力いたしますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

# SCHEDULE 令和元年度

	射水キャンパス	富山キャンパス
7月	上旬 サークルリーダー研修会	1月 工学研究科入学者選抜
	27(土) オープンキャンパス(工学部・看護学部)	25(木)～8/13(火) 授業又は試験又は補講
8月	3(土) ダ・ヴィンチ祭	19(月)～9/6(金) 集中講義
	22(木)～9/14(土) 米国ポートランド州立大学語学研修へ参加学生の派遣	20(火)、21(水) 工学研究科入学者選抜
	26(月)～9/14(土) 中国・瀋陽化工大学へ交換留学生の派遣	24(土)、31(土) 保護者向けキャリア支援(就職・進学)セミナー(24日:射水、31日:名古屋)
	若手エンジニアステップアップセミナー	
9月	中旬～11月中旬 北陸三県大学生交歓芸術祭	9(火)～11(木) 初期体験実習
	先端技術リカレント教育セミナー	1(木)～13(火) 授業又は試験又は補講
	若手エンジニアステップアップセミナー	24(火)～27(金) 集中講義(看護ケアとユマニチュードI)

## CAMPUS NOTE

### FLAT



こんにちは、富山県立大学生協学生委員会のFLATです。私たちは、毎週木曜日に15時から食堂で主に2年生が中心となって活動しており、現在の所属人数は1～3年生合わせて60名所属しています。学年関係なく、楽しく活動しています。

まず最初に、FLATの名前の由来を説明したいと思います。これらのアルファベットは、それぞれの単語のイニシャルを取ったもので、Friend, Life, Assist, Teamから取っています。

活動内容は組合員の方がより良い大学生活を送れるための企画を行ったりしています。

例えば、春休み期間には新入生企画として新入生サポートセンターと新入生フェスタを開催しています。今年も多くの新入生が来てくれました。新入生企画のほかにも、自転車点検や七夕、ニコニコ抽選会などの企画も開催しています。

また、他大学の学生委員との交流会などもあるため、様々な人と関われる機会も多いので、とても楽しく活動が充実しています。

興味があったら、ぜひ見学に来てください。

(副委員長 生物工学科2年 佐藤智紀)



この用紙は資源保護のため、インキは植物油インキを使用しています。

再生紙を使用しています。

### 編集後記

10連休も終わり、1年生のみなさんは大学生活にも慣れて忙しい毎日を送られていると思います。課題やレポートに取り組んでいると、毎日があっという間に過ぎてゆくのではないのでしょうか。もちろんみなさんの本分は学業なのでそれでよいのですが、一方で、大学時代は自分の好きな事に好きなだけ時間を使うことが許される時代でもあります。以下でもご紹介しているように、皆さんの周りにはサークル活動や海外留学・研修など色々な活動のチャンスがあります。学部の4年間はあっという間です。在学中に積極的に色々な事にチャレンジして下さい。

毎号、編集後記の隣に掲載されるCAMPUS NOTE(サークル紹介)を見てみると、本学の学生さんの底力を感じて頼もしく思います。本号のドン・ドンマスコーナーでご報告した通り、新しい学生会館もできました。サークルのみなさんの活動は県立大学を元気にします。これからも頑張ってください。

また、News Digestでは、ポートランド州立大学の語学研修と北陸銀行主催の海外研修を取り上げました。この他にも、本学には瀋陽化工大学との交換語学留学や、県の企画である企業実務研修(いずれも申込は5月)など、多彩な海外留学・研修プログラムが準備されています。若くて頭がやわらかい時に、外国の異なる文化を体験する事は一生の財産です。学生のみなさんは、ぜひこれらのプログラムを活用して海外体験して下さい。

(広報・情報委員長 福原 忠)